

オレンジ通信 Vol.7

佐々木まゆみ市議会活動レポート

2014年5月発行

発行元／仙台市議会公明党市議団 仙台市議会議員佐々木まゆみ

仙台市宮城野区幸町2-21-11 TEL022-707-7462 メールアドレス sasaki@sendai-komei.jp

復興への道のり、 これからも寄り添い続けます！

2月13日より開催された平成26年度第一回定例会(2月13日～3月14日)の予算等審査特別委員会に於いて、地域防災、教育の充実について質問させて頂きました。(詳しくは中面を御覧ください)

また、定例会開催中の2月26日に、フィギュアスケート金メダリストの羽生結弦選手が市役所に来庁され、スポーツの力で元気と感動を頂き大いに盛り上げて頂きました。4月26日には、盛大な優勝パレードが行われ、たくさんの市民の皆様が集われました。改めてスポーツの素晴らしさに感動致しました。

東日本大震災から丸三年が過ぎましたが「心の復興」は、本当にこれからです。長引く避難生活は未だ終わりません。不安な日々を送られる方が現在もたくさん居られます。

生活基盤として住まいは重要です。仙台市として、復興公営住宅の入居は一部で始まったばかりです。まず入居を加速させること。また、次の住まいへのステップを最大限支援することが、私たちの役目です。

そして、「風化」と「風評被害」との闘いです。地域や家庭において対話を中心に、共に力を合わせて励まし合っていくことが必ず復興へと繋がって行くと思っております。

これからも、「大衆とともに」の立党精神を胸に、皆様に寄り添い行動を起こして参ります！

佐々木まゆみ



●佐々木まゆみ プロフィール

昭和39年7月仙台市生まれ。平成23年仙台市議会議員初当選（宮城野選挙区）。

【仙台市議会】健康福祉常任委員会副委員長。エネルギー政策調査特別委員。広報委員。

【公明党】宮城野西支部支部長。



地域防災意識の更なる向上を!

【佐々木まゆみ議員】

この度仙台市で作成した「地域防災計画・避難所運営マニュアル」「仙台市避難所運営マニュアル解説用DVD」について。今後どのように活用していくのか。

【消防局・管理課長】

各町内会や地区社会福祉協議会、また市立の小・中・高等学校や市民センター等へ順次、配付していく。

このDVDは、地域団体の皆様や施設の管理者に対し、避難所運営に対するイメージを共有化するため、また地域版マニュアルの完成後においても、地域にお住まいの方々に避難所運営について幅広く周知するために作成したものである。今後、避難所担当課を通じてさまざまな活用事例を紹介するなど、地域における活発な事前協議ができるよう発信してまいりたい。

【佐々木まゆみ議員】

先日、一斉防災訓練・通称「シェイクアウト訓練」を国内最初に導入し提唱した東京都千代田区を視察。「自助」について改めて確認して頂くためのシェイクアウト訓練、本市としての認識はどうか。

【消防局・管理課長】

指摘のシェイクアウト訓練は、防災意識の動機づけや

身の安全を守るための基本訓練の一つとして有効であると認識している。

シェイクアウト訓練という名称は使っていないが、これまでも学校を中心とする児童・生徒の避難訓練をはじめ、さまざまな訓練の中において、身の安全確保訓練として実施してきたところである。

シェイクアウト訓練については、自助力を高める効果もあるのだが、実施に当たっては事前準備や事後のフォロー等について関係機関と十分な調整が必要といった課題もあり、先進事例を調査しながら検討してまいりたい。

教育の充実で、子ども達に豊かな心と身体を!

【佐々木まゆみ議員】

学校週5日制は、学校・家庭・地域の三者が互いに連携し、役割分担しながら社会全体として子供を育てるという基本理念の下、平成4年9月からの段階的实施を経て、平成14年度から完全実施となり10年が経過した。近年、一部の地域では授業時数の増加、保護者や地域に開かれた学校づくりの観点から、設置者の判断により土曜日に授業を行う学校もみられる。そこで、これまでの学校週5日制に対応した本市の土曜日の活用状況はどうだったのか。

【生涯学習課長】

平成14年度から、実施可能な学校において、土曜日の午前中に子ども達のスポーツ活動の場として校庭や体育館の開放する「自由活動開放事業」を実施。

また平成15年度からは小学校の図書館などを週末に開放する「学校図書室等開放事業」に取り組み、地域の方々も含めた生涯学習の場として、図書の閲覧、貸出の他、紙芝居や読み聞かせ等の催しを実施している。

【佐々木まゆみ議員】

子どもたちに、これまで以上に豊かな教育環境を提供し、その成長を支えることが重要であり、そのためには、学校、家庭、地域が連携し役割分担しながら学校における授業や地域における多様な学習、文化やスポーツ、体験活動等の機会を充実させる取り組みが重要となる。この観点から、土曜授業の実施に係る学校教育法施行規則の一部が改正され、設置者の判断により、土曜授業を行うことが可能となった。本市としての、土曜授業の取り組みの考え方について伺う。

【生涯学習課長】

本市では、文部科学省の補助事業を活用し「地域とともに歩む学校」づくりの取り組みをベースに、平日には参加の難しい地域の様々な技能や経験を持つ人材や、文化活動団体・学生ボランティア等の協力もいただきながら、地域における多様な学習や体験活動などのプログラムの企画・実施に取り組むこととしている。

今後、モデル校区における事業成果を検証しながら、学校・家庭・地域が連携して行う、子どもたちの土曜日の教育支援のあり方を検討してまいりたい。

ダンス授業について

【佐々木まゆみ議員】

市内の小中学校で行われているダンス授業について。外部指導者による授業も可能と考えるがどうか。

【健康教育課長】

中学校においてこれまでも、仙台市ダンススポーツ連盟の外部指導者によるダンスの授業を行っており、今年度は延べ45時間、ご指導いただいた。

また、日本ストリートダンススタジオ協会の自主的な活動として、市内の小中学校7校においてダンス教室

を実施していただき大変好評であった。

外部指導者による授業については、子供たちに質の高い授業の展開や、教員自身のスキルアップにもつながるものと考えられることから、今後も必要に応じ各学校において実施してまいりたいと考えている。

【佐々木まゆみ議員】

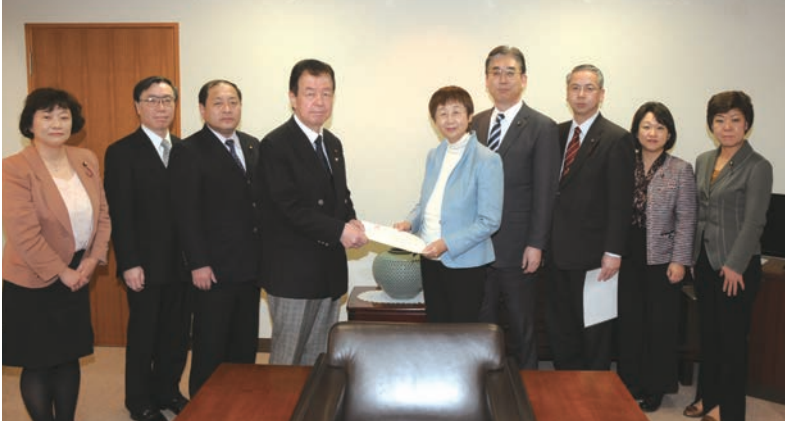
踊育(だんいく)などの授業を通して、子どもたちへの更なる生きる力を養う本市の教育のあり方を要望するところだが、教育長の考えを伺う。



ダンス教育

【教育長】

子どもたちの生きる力を育てるには、豊かな体験活動が必要だ。そのために地域や外部の方々から学ぶことが大切で、ダンスや武道など、その道の専門家から教えていただくことはとてもよい機会と考える。これまでもダンスや武道だけでなく、その他の教科学習や諸活動において、外部の方々からご指導をいただいていた。今後とも子どもたちに、学校の教育活動の中においてこのような機会を積極的に設けて進めていきたい。



市長に復興対策の充実を求める申し入れ(3月14日)



通学路に街灯設置(大槻)

車・自転車・歩行者など通行量が多い場所で、ガードトンネル・坂道など危険な個所が多い道路において、このたび5カ所に街灯が設置されました。明るくなり子ども達や保護者の皆様からも大変喜ばれています。



幸町市営住宅(高層)完成

震災により大きな被害を受けた同住宅の建て直しが終了し、この度完成しました。全戸バリアフリーで、多くの方の入居も進んでいます。



東部休日診療所を移転(幸町)

これまで東仙台にあった同診療所が、今年3月より幸町に移転し、診療を開始しました。日曜日・祝休日に診療しています。内科・小児科。
(診療時間9:00~16:45)幸町3-12-1 電話291-5566



「標識柱」を設置(燕沢・幸町)

燕沢と幸町地域でこの度「標識柱」を設置しました。側溝の整備がなされていない個所で車も歩行者も危険な場所ですので、地域の方からも喜ばれています。



安全のため街灯を移設(幸町)

地域の方の要望で、樹木に隠れ暗くなっていた街灯を、反対側(手前側)に移設しました。